

Title	2005年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報
Author(s)	
Citation	京都大学生涯教育学・図書館情報学研究 (2006), 5: 159-161
Issue Date	2006-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2433/43896
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

2005年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

1. 授 業

《大学院》

教 授	前平 泰志	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		比較社会教育論	後期
教 授	川崎 良孝	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅰ	前期
助教授	佐藤 卓巳	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅱ	後期
講 師	三輪 建二	生涯教育学特論Ⅰ	前期集中
講 師	山口源治郎	図書館情報学特論Ⅰ	前期集中

《学 部》

教 授	前平 泰志	偏見・差別・人権（リレー講義）	前／後期
		同和・人権教育論	前期
		生涯学習概論Ⅱ	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
教 授	川崎 良孝	図書館資料論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	生涯学習概論Ⅰ	前期
		英語（教育科学）	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	佐藤 卓巳	メディア文化論	前期
		教育研究入門Ⅱ（リレー講義）	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
講 師	山田 正行	社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講 師	西岡 正子	生涯教育学・図書館情報学講読演習Ⅱ	後期
講 師	塩見 昇	図書館経営論	前期
講 師	山本 昭和	図書館サービス論	前期

講 師	志保田 務	資料組織論	前期
		資料組織論演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講 師	川崎佳代子	読書と豊かな人間性	前期集中
講 師	柴田 正美	情報メディアの活用	前期集中

2. 活 動

《生涯教育学研究室》

・共同研究プロジェクト

受託研究「中・高年層の『学び』のスタイルに関する総合的研究」(JTB 産学連携)

〈「成人の学習ニーズと学習スタイルに関する調査」結果の分析・考察〉

京都大学シニアキャンパス2005 — 9.27~30 (京都大学 [他]) 参加者36名

・参加／交流

京都大学教育学研究科 第2回国際シンポジウム「大学教育の知の彼方へ」

— 11.6 (京大会館)

東アジア成人教育フォーラム (EAFAE) 第6回総会

— 11.19~23 (法政大学、代々木国立オリンピック記念センター)

・講演会／セミナー

京都生涯学習セミナー — 12.11 (於：龍谷大学大宮学舎)

・特別ゼミ

高益民先生 (北京師範大学比較教育研究中心・副所長) 特別講義

「中国の成人教育 — 歴史と現状 —」 — 6.28 (420号室) 4、5 限目

夏季ゼミ合宿 — 7.20~21 (淡路島町営「東浦サンパーク」) 参加者15名

ポール・スタンディッシュ先生 (シェフィールド大学・教授) 特別講義

“towards an economy of higher education” 〈臨床教育学講座共催〉

“From Adult and Continuing Education to Lifelong Learning”

— 11.1 (420号室) 3、5 限目

・研究会

「地域通貨」研究会 (日本社会教育学会プロジェクト研究発表〈6.4~5〉など)

「学びの文化」研究会

S D L研究会：訳書刊行：マルカム・S. ノールズ [著]／渡邊洋子 [監訳]／京都大学 S D

L研究会 [訳]『学習者と教育者のための自己主導型学習ガイド — とともに
創る学習のすすめ』明石書店

《図書館情報学研究室》

本年は、個人の研究活動を中心に行い、研究室主催の講座等を行わなかった。

3. 個人業績（院生）

【博士後期課程】

金 智鉉（博士後期課程3年）

研究論文：「歴史的流れの中での公共図書館と点字図書館 — 日本の歴史的背景と図書館の変遷を中心に —」『韓国ビブリア学会誌』16(1), 2005,6, p.113-132

倉知 典弘（博士後期課程2年）

口頭発表：「京都市勸業政策の展開 — 伝統産業を中心に」（日本社会教育学会第52回研究大会自由研究報告／千葉大学 9月17日）

猿山 隆子（博士後期課程2年）

口頭発表：「鶴見和子の生活記録の方法に関する一考察」（日本社会教育学会第52回研究大会自由研究報告／千葉大学 9月17日）

安川由貴子（生涯教育学）

口頭発表：「生涯学習における認識論的研究 — G. ベイトソンのコミュニケーション論を機軸として —」（日本社会教育学会第52回研究大会自由研究報告／千葉大学 9月17日）

【修士（博士前期）課程】

森田 千幸（博士前期課程）

翻訳：メアリー・リー・バンディ／フレデリック・J. スティロー編、川崎良孝／森田千幸／村上加代子訳『アメリカ図書館界と積極的活動主義：1962-1973年』京都大学図書館情報学研究会発行、日本図書館協会発売、2005年6月、279p

4. 目録（前年度分）

《修士論文》

森田 千幸

「なぜアメリカ公立図書館ではインターネットの導入が進んだのか — 情報政策への図書館界の対応 —」

(2005年12月現在)